

コロナ禍で迎える新年度 ~ウィズコロナ時代の本学の取組~

新型コロナウイルスの感染拡大予防と学修機会の確保の両立を図ることを目的に、本学では、令和3年度の授業実施方針を定め、HPでお知らせしています。こちらでは、共通教育や各学部におけるコロナ禍ならではの取組や、新年度から実施する新たな学生サポート等をご紹介します。

※なお今後の状況によって変更する可能性があります。

共通教育の取組 安心・安全に大学での学びを経験してもらうために

●対面授業の拡充

共通教育センターでは、新入生に対し、共通教育科目の対面での学修機会をより多く確保するため、各講義室の定員と座席配置の見直し・手指消毒液の常設、学生に不織布マスク着用の徹底を呼びかける等、感染症防止対策を十分に実施する。

●manaba（マナバ）やZoomの活用

対面での授業が難しい受講者数の多い科目や発話を頻繁に伴う科目では、学習管理システムmanabaを利用したオンデマンド配信や、Web会議サービスZoomを用いた遠隔授業に対応する。

manabaとは?
インターネットを利用して講義資料の配布やレポートの提出、出席管理などが行える。本学では2017年度にプレオーブンし、2018年度から全学で運用を開始し、学生・教員が授業やゼミ等で幅広く活用している。

学部の取組

法文学部

●対面授業の大幅な拡大と遠隔形式の有効活用

感染防止対策を徹底した上で、演習、実習及び1年生の授業を中心に約7割の授業を対面形式で行い、少人数クラスによるきめ細かな教育・指導を行う。一方、講義はそのメリットを活かして遠隔形式で実施するほか、海外渡航制限が継続する場合には、昨年度と同様のオンライン方式での海外研修の実施を検討する。

●オンラインによる相談会やゼミオリエンテーション等の実施

昨年実施したオンライン方式での学生のお悩み相談会やゼミ及びコースのオリエンテーション、学生と教員のワークショッピング等を新年度も実施する予定。

教育学部

●Webを利用した手続きの増加

これまで人件制限のある科目的履修申請や各種調査は書面で提出してもらうようになっていたが、感染予防のためmanaba等を利用してオンラインで行えるようにしている。オンライン手続きが適用可能なものについて今後も検討を重ねる。

理学部

●実験・実習時の徹底した感染予防

【実験】昨年度は開始前と終了後に全ての実験器具・実験台の殺菌消毒を教員が行うとともに、実験室の定員を半分にし、受講生を少人数の班に分けて実施。本年度も同様に感染対策を徹底して実施する。【実習】昨年度は宿泊を伴う実習が開講できなかったため、開講時期や方法を再検討し、安全に配慮した再開に向けて準備中。

●学年別サポート

manabaを活用した、研究室配属の調整・担任からの連絡・単位不足の学生への個別指導を実施。

医学部

●動画教材でチーム医療実習

保健学科では昨年、4年次のチーム医療実習を、離島住民のバーチャル家庭訪問を教材としてオンラインで実施した。学生に扮した教員が三島村の一人暮らし高齢者宅を訪問、その様子を撮影し動画教材に。教育効果を高めるため実習要項を作成しアセスメントシートを開発した。新年度は動画を英語と韓国語に翻訳し、米・韓の学生との合同でのアクティブラーニングに用いる予定。

歯学部

●双方向中継システムを導入

講義室間の双方向中継システム（主側から黒板・教壇周囲の映像・音声とPC画像、副側から教室全体の映像・音声）を導入。これにより小さな講義室でも学生の密度を半分に抑えられ、より安全な授業が可能に。昨年1組（2講義室）で運用を始め、もう1組も整備中。

工学部

●学生相談体制の強化

従来から、学生数名毎にアドバイザーとして教員を、学生相談員として大学院生を1名ずつ配置し学業・生活の相談に乗っており、昨年度も学生の不安の解消にあつた。さらに2021年度新入生への支援強化を見据え、manabaで各プログラム学年ごとに相談窓口を設置、手軽に相談可能に。新年度も引き続き体制を維持する。

農学部

●チーチャー教員やSNSを通じた繋がりの構築

学生2・3名に対して1名のチーチャー教員が、学期始め・終わりや長期休暇の終わり頃に、学修状況や生活・人間関係に問題等ないか相談に乗っている。加えて昨年からは1年生向けにSNSでの連絡体制を作成したり、Zoomで同級生と対面・交流する機会を設けた。新年度も学部全体で新入生・在学生をサポートする。

水産学部

●感染予防に留意した就活支援

学部独自で毎年開催する合同企業説明会は100社近い企業を招待しており、この説明会で就職先と出会う学生も多い重要なイベントである。新年度は密を避けるため招待企業数を約半数に絞り込んで実施するとともに、参加できない企業には別日での独自開催やオンライン開催を要請し、例年と変わらない就職機会の提供を実現する。

共同獣医学部

●少人数クラスならではのきめ細やかなサポート

1学年30名の少人数クラスなので、昨年4月には短縮した新入生オリエンテーションで同級生同士の顔合わせ、5月には担任教員参加のオンラインクラス会を実施、その後もオンライン個別相談を開催。入構可能期間には、授業の合間に学部教員9名による研究概要の自己紹介を行い、学修意欲の維持に努めた。新年度も新入生が孤立しないよう引き続き指導する。

その他の取組

自学自習・研究支援

●自宅からでも使用できる電子コンテンツや、メール・Web等での学習・研究をサポート。附属図書館HPの特設ページから随時確認可能。



留学・語学サポート

- 海外の協定大学が提供するオンライン授業の受講が可能。
- オンラインによる海外大学の授業受講時、一人当たり15万円を上限に授業料相当額（学費・登録料）を支援。
- 英語力向上を目的とした課外授業 Intensive Englishや、留学生と行う外国語学習 Global Language Space（グローバル）をオンラインで実施。

要支援学生への修学支援

- 情報取得及び整理に難しさのある学生へのサポートを実施。
- Web・電話・メール等遠隔に対応した相談支援の実施。
- 遠隔授業を受講するためにPC・タブレットの貸出及び機器の使用に困難がある学生への指導を実施。



遠隔授業＆新しい大学生活サポートリーフ
遠隔授業に関するアンケート結果をフィードバック。



令和2年度 鹿児島大学進取の精神学生表彰

本学の学生憲章の趣旨に即し、困難な課題に果敢に挑戦する「進取の精神」を実践し、優れた活動実績や業績等を収めた学生及び学生団体を表彰するものです。

優秀賞

枝 伶旺（水産学部水産学科 4年）
「地域に根差した魚類調査・研究成果とアウトリーチ活動」

準優秀賞

横道 うらら（法文学部法経社会学科 4年）
「地域に根ざした学習と実践」

鹿児島大学ラグビー部「鹿児島大学ラグビー部の変革」



*学年は表彰時の学年

令和2年度 鹿児島大学稻盛賞

本学を卒業された京セラ株式会社名譽会長 稲盛 和夫氏のご寄附により、平成15年度から設けられた学生表彰制度で、①学業に専念し成績優秀で品行方正な最終年次の学部学生、②社会の期待にこたえるような業績を挙げた学部学生及び大学院学生、③その他前2号と同等以上の表彰に値する行為等があったと認められる学部学生及び大学院学生を表彰するものです。

・法文学部／清瀬りほ、竹之下晴子
・医学部／谷口智也、田代菜帆
・農学部／山内瑠子、内村望空
・教育学部／池田駿、森山航平
・歯学部／萩元綾
・水産学部／桑原芽美、岩園愛

2020年、鹿児島大学は



原則遠隔授業となり、閉鎖した学内



対面授業が一部再開。学習交流プラザでは、間隔を取って着席し自習に励む学生の姿。



夏季オープンキャンパスは初のオンライン開催。学生がPC越しに高校生と話した。



後期授業開始。職員が学生にマスクを配布するなど感染予防を呼びかけた。



万全の対策を講じ秋季オープンキャンパスを開催。



「地域人材育成プラットフォーム」成果報告会をオンライン開催。学生が学びの成果を報告した。



SKYCAMP開始。2週間の操縦飛行体験インターンシップに学生7名が参加した。

2020
4
april

6
june

10
october

11
november

3
march

令和2年度 鹿児島大学商工会議所会頭賞

鹿児島商工会議所との包括連携協力協定の目的に基づき平成30年度から設けられた学生表彰制度で、地域の活性化に繋がる優れた取組を行った、学部に在学する最終年次の学生を表彰するものです。

・野々下悠里（農学部食料生命科学科4年）

2021
1
january

8
august

1
january

3
march

2021
1
january

8
august

1
january

3
march

●R3年度 全学キャリア・就職支援プログラム(予定)※1

◎1~2年生対象	
4月~8月	● 共通教育科目前期「キャリアデザイン」開講
10月~翌年2月	● 共通教育科目後期「キャリアデザイン」開講
1月5日	● 1、2年生対象進路ガイダンス
◎3年生(修士1年生)対象	
5月~翌年4月	● 公務員採用試験対策講座開設(大学生協)
4月21日	● 第1回就職ガイダンス「就活スタートアップ」
4月28日	● 第2回就職ガイダンス「インターンシップ活用法と業界・企業研究」※2
5月19日	● 第3回就職ガイダンス「インターンシップ選考対策」※2
6月上旬	● 学生向け就職小冊子「就職支援ガイドブック」発行
7月14日	● 就職支援講座Ⅰ「グループワーク実践」※2
8月11日	● 就職支援講座Ⅱ「就活マナー実践」
10月6日	● 第4回就職ガイダンス「公務員希望者向けガイダンス」
10月20日	● 就職支援講座Ⅲ「インターンシップ振り返り講座」※2
12月~翌年1月	● 教員採用試験対策講座開設(大学生協)
1月21日	● 第5回就職ガイダンス「エントリーシート対策」
1月25日	● 第6回就職ガイダンス「面接対策&就活ストレス対処法」
1月27日	● 学内業界・研究フェア※2
1月19日	● 第7回就職ガイダンス「就活直前対策」
1月19日	● 就職支援講座Ⅳ「Web面接対策」
2月上旬	● 企業向け小冊子「求人のための大学紹介」発行
2月14~16日	● 就職支援講座V「模擬面接対策(3日間)」
3月上旬	● 学内個別企業セミナー・フェア(講義形式・3日間)
◎4年生(修士2年生)対象	
4月~翌年3月	● 学内個別企業説明会(随時)
4月7日	● 公務員採用試験説明会(国、鹿児島県、鹿児島市等)
5月中旬	● 県外公立学校教員採用試験説明会
5月下旬	● 鹿児島県公立学校教員採用試験説明会
6月2日	● 就活応援講座Ⅰ「就活見直し講座」
6月16日	● 就活応援講座Ⅱ「公務員・教員受験者向け集団討論対策」
6月30日	● 県内企業による学内合同企業説明会(ブース形式)
7月上旬~中旬	● 県外企業によるWeb合同企業説明会
11月24日	● 個別進路相談会
○全学生対象	
5月26日	● 「かごしま課題解決型インターンシップ」受入企業による説明会
6月23日	● インターンシップWeb合同企業説明会
8月~	● 「かごしま課題解決型インターンシップ」(随時)※3
10月~翌年2月	● 業界・職種研究セミナー(随時)
11月10日	● 中小企業の魅力発見講座「社長と語ろう」
11月~12月	● 毕業生による就職・キャリア支援セミナー(年間2回)
2月中旬~下旬	● 地元企業Web訪問ツアー

*1:上記以外にも各学部主催で就職ガイダンス、説明会等を開催しています。詳細は各学部の就職担当窓口まで。
※2:3年生は修士1年生が主な対象ですが、他の学年の学生も参加できるイベント。
※3:要相談。詳細はインターンシップ窓口まで。

保護者のための就職・キャリア支援
INFORMATION

COLUMN

キャリア形成
支援センターより

コロナ下での就職活動とは。

昨年2月頃からの新型コロナウイルス感染症の拡大で、2021卒業・修了生対象の企業説明会は次々に中止となり、即オンラインで対応できた一部を除く大半の企業で、採用活動の中止や延期を余儀なくされました。

それから1年以上が経つ今、Webでの説明会・セミナーや面接は当たり前となり、オンラインのインターネットも増えています。移動時間や交通費などを気にせず参加できる点は、地方の学生にとって大きなメリットです。OB・OG訪問も遠隔から可能になりました。

一方、採用側の全体的な求人意欲は、観光・飲食業や運輸業など一部を除き、今のところ一ヶ月後ほど大きく低下していません。ただし、以前より厳選採用となり、また、Web面接は対面よりも学生の見極めが難しいこともあって、応募書類の内容重視の傾向が強まると言われています。これでどんなことを力を入れ、どう成長したのかが、一層問われることになります。

多くの学生や保護者の方が今後の就職活動に不安を感じていることと思います。まずは正確な情報収集に努めながら、キャリア形成支援センターによる様々なWeb及び対面のイベントに参加し、個別相談※も利用していただくようお願いします。

※通常は対面での相談になりますが、時期や本人の申し出によってはオンラインや電話、メール等での相談も実施しています。

Q. 鹿大生の就職先を教えてください(保護者アンケートより)

A. 最新的就職状況はキャリア形成支援センターHPをご覧いただけます。

その他、学内で開催するガイド、セミナー、インターネット情報等を掲載しています。就活中の学生・保護者はもちろん、これから就活を行う学生の皆様もぜひご覧ください。

キャリア形成支援センター 就職・進路データ(2020/5/1現在)

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/job/sinrodata.html>

※最新の進路データ(2021/5/1現在)は6月上旬に掲載予定。



キャリア形成支援センターでもたくさんの
求人情報や就活関連書籍が見られます



Q&A



法文学部法経社会学科4年
堅島 敏太郎さん

○株式会社朝日新聞社
(本社:東京都)記者部門 内定



法文学部人文学科2年
石井 風悟さん

内定者インタビュー特別企画 先輩 × 後輩 対談! 就活を迎える後輩たちへ

これから就活を迎える後輩に対し、内定を得た先輩が経験談やアドバイスを話します。



◆入学前から新聞記者を志していたという堅島さん。志望動機や就活の流れを教えてください。

新聞社で子ども特派員をしていて、普段入れないような場所に取材に行けたり、書いた記事に反響があるなど、そういう記者の運の仕事に当時から興味がありました。鹿児島大学に入学したのも、オープンキャンパスの時に「マスクミーティングの貼り紙(※)を見たから」で、面接官にも興味を持ったのです。面接官が「なぜそこまで来られたのです」と尋ねたときに、「自分には新聞記者になれる可能性があるから」と答えたのです。

就活開始は3年生の8月頃。就職浪人しても新聞記者になるつもりで、エントリーは新聞社のみ。8~9月に4社のインターンシップに参加しました。その時は対面でしたが、今はオンラインになっているので、社内見習いなどを引き受けたくなります。

